



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社 積水工機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6487 URL http://www.sekisuikouki.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)海田 拓洋  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)浜田 洋介 (TEL)072(858)1121  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,190	△3.0	△45	—	△48	—	△55	—
26年3月期第1四半期	1,227	20.0	△8	—	△12	—	△17	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △51百万円(—%) 26年3月期第1四半期 △16百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△5.95	—
26年3月期第1四半期	△1.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,781	2,326	40.2
26年3月期	5,846	2,377	40.7

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,326百万円 26年3月期 2,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	未定	未定

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	6.5	80	2.5	75	6.3	65	7.1	7.01
通期	6,100	5.2	160	72.3	150	85.4	130	79.7	14.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	9,350,000株	26年3月期	9,350,000株
27年3月期1Q	75,976株	26年3月期	75,876株
27年3月期1Q	9,274,074株	26年3月期1Q	9,275,030株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 受注の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の金型部門の状況につきましては、主要顧客である国内自動車メーカー各社の新車開発需要は新興国市場向けを中心に活発に推移し、当第1四半期の受注は、前年同期比47.8%増加しました。産業機器部門の受注は、高機能樹脂を中心とする押出機・金型関連の設備投資需要が徐々に拡大しており、受注は前年同期比25.6%増加しました。

全社の売上高は産業機器部門が大幅減となった影響で、前年同期比3.0%減少し、1,190百万円となりました。

内訳は、金型部門が自動車関連を中心に前年同期比15.2%増加しましたが、産業機器部門は押出機関連設備を中心に前年同期比33.6%減少しました。営業損益は、売上高が減少したことなどにより、45百万円の損失（前年同期は営業損失8百万円）となりました。また、経常損益は48百万円の損失（前年同期は経常損失12百万円）、四半期純損益は55百万円の損失（前年同期は純損失17百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、5,781百万円となりました。主な内訳は、流動資産が現金及び預金と受取手形及び売掛金が減少したことなどにより76百万円減少したことによるものです。固定資産は金型加工設備の導入等で11百万円増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ13百万円減少しました。主な内訳は、流動負債が40百万円増加しましたが、固定負債が借入金の返済等で53百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、2,326百万円となりました。主な内訳は、四半期純損失の計上により利益剰余金が55百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は40.2%（前連結会計年度40.7%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社の関連する自動車メーカー各社を始めとする主要顧客の設備投資需要は増加傾向にあり、第2四半期以降の業績回復を見込んでいます。

従いまして、平成27年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、当初の計画通り達成できるものと予測しています。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、デュレーション法による単一割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	849,315	603,072
受取手形及び売掛金	2,153,250	2,070,509
仕掛品	402,701	651,770
原材料及び貯蔵品	29,518	29,170
繰延税金資産	58,235	54,665
その他	43,308	50,785
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	3,534,329	3,457,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	479,219	471,016
機械装置及び運搬具(純額)	562,756	585,226
土地	1,112,910	1,112,910
建設仮勘定	36,272	32,425
その他(純額)	10,836	16,321
有形固定資産合計	2,201,992	2,217,900
無形固定資産		
ソフトウェア	46,962	42,184
その他	4,498	4,474
無形固定資産合計	51,461	46,659
投資その他の資産		
繰延税金資産	65	65
その他	58,502	59,079
投資その他の資産合計	58,567	59,144
固定資産合計	2,312,021	2,323,704
資産合計	5,846,351	5,781,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,527,903	1,532,724
短期借入金	886,660	886,660
未払法人税等	33,372	10,556
賞与引当金	61,800	99,050
工事損失引当金	1,390	-
設備関係支払手形	11,665	49,440
設備関係未払金	39,607	31,132
その他	222,719	216,020
流動負債合計	2,785,118	2,825,583
固定負債		
長期借入金	510,010	463,345
長期未払金	44,210	44,210
リース債務	83,271	77,693
繰延税金負債	1,413	1,432
退職給付に係る負債	44,907	43,156
固定負債合計	683,812	629,837
負債合計	3,468,931	3,455,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,613,000	1,613,000
資本剰余金	831,151	831,151
利益剰余金	29,305	△25,858
自己株式	△17,625	△17,641
株主資本合計	2,455,830	2,400,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,147	1,824
退職給付に係る調整累計額	△80,557	△76,219
その他の包括利益累計額合計	△78,410	△74,395
純資産合計	2,377,419	2,326,256
負債純資産合計	5,846,351	5,781,677

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,227,255	1,190,357
売上原価	1,088,419	1,079,488
売上総利益	138,836	110,868
販売費及び一般管理費	147,818	156,008
営業損失(△)	△8,982	△45,140
営業外収益		
受取利息	108	121
受取配当金	207	76
仕入割引	731	525
その他	0	-
営業外収益合計	1,048	722
営業外費用		
支払利息	4,854	4,095
売上割引	7	8
その他	102	74
営業外費用合計	4,964	4,178
経常損失(△)	△12,898	△48,596
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,898	△48,596
法人税、住民税及び事業税	7,332	4,391
法人税等調整額	△3,200	2,176
法人税等合計	4,132	6,567
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,031	△55,163
四半期純損失(△)	△17,031	△55,163



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,031	△55,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	732	△323
退職給付に係る調整額	-	4,338
その他の包括利益合計	732	4,015
四半期包括利益	△16,299	△51,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,299	△51,148

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	四半期連結損益 計算書計上額 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	769,235	458,019	1,227,255	—	1,227,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	769,235	458,019	1,227,255	—	1,227,255
セグメント利益又は損失(△)	△49,568	35,785	△13,782	4,800	△8,982

(注) ※1 セグメント利益又は損失の調整額4,800千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	四半期連結損益 計算書計上額 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	886,155	304,201	1,190,357	—	1,190,357
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	886,155	304,201	1,190,357	—	1,190,357
セグメント利益又は損失(△)	△57,925	7,984	△49,940	4,800	△45,140

(注) ※1 セグメント利益又は損失の調整額4,800千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年5月15日開催の取締役会において、平成26年6月24日開催の第54回定時株主総会に、「資本金の額の減少の件」及び「剰余金の処分の件」を付議することを決議し、当該株主総会において承認可決され、平成26年7月28日に効力が生じています。

(1) 資本金の額の減少及び剰余金の処分の目的

資本金の額を減少し、その他資本剰余金へ振り替えると同時に、繰越損失を解消することにより、早期に財務体質の健全化と機動的かつ効率的な資本政策に備えるものです。

(2) 資本金の額の減少の内容

① 減少する資本金の額

平成26年3月31日現在の資本金の額1,613,000千円を913,000千円減少し、700,000千円とします。

② 資本金の減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額のみを減少し、資本金の減少額913,000千円はその他資本剰余金へ振り替えます。

(3) 剰余金の処分の内容

① 減少する剰余金の額

その他資本剰余金 344,818千円

② 増加する剰余金の額

繰越利益剰余金 344,818千円

(4) その他

本件は「純資産の部」における振替となりますので、当社の純資産額に変動はありません。また、本件が損益に与える影響はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 受注の状況

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
金型	948,863	47.8	1,340,557	29.0
産業機器	473,924	25.6	1,156,503	12.7
合計	1,422,787	39.6	2,497,060	20.9

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。